

診療用 { 高エネルギー放射線発生装置
放射線照射装置
放射線照射器具
放射性同位元素
放射性同位元素装備診療機器 } に関する変更届

年 月 日

熊本市保健所長(宛)

届出人(管理者)

診療用 (高エネルギー放射線発生装置 ・ 放射線照射装置 ・ 放射線照射器具 ・ 放射性同位元素 ・ 放射性同位元素装備診療機器) の届出事項を変更したいので、医療法第 15 条第 3 項に基づく医療法施行規則第 29 条第 2 項の規定により次のとおり届出をします。

(フ リ ガ ナ)						
名 称						
開 設 の 場 所		〒 校区				
		TEL		FAX		
変 更 年 月 日		年 月 日				
変 更 し た い 理 由						
変 更 事 項		新			旧	
所長	課長	副課長	主幹	主査	班員	
受付印			決裁印			
起案 年 月 日 本届出書を受理したので 供覧します。						

添付書類

使用室などの変更の場合

- 1 放射線管の位置及び照射方向並びに天井、床、周囲の画壁防護物の材料及び厚さを記入したエックス線診療室図面
- 2 隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した使用室平面図及び側面図
- 3 使用室などにおける放射線測定結果書

1. 診療用放射性同位元素の概要

種 類				
形 状				
年 間 使 用 予 定 数 量	Bq	Bq	Bq	Bq
3 ヶ 月 最 大 使 用 予 定 数 量	Bq	Bq	Bq	Bq
1 日 最 大 使 用 予 定 数 量	Bq	Bq	Bq	Bq
最 大 貯 蔵 予 定 数 量	Bq	Bq	Bq	Bq

2. 放射線障害防止に関する構造設備等の概要

使 用 室	室 名							
	最 大 使 用 予 定 数 量		Bq/1 日					
	建 築 物 の 構 造		1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他 ()					
	遮蔽物		筒 所	天 井	壁	床	出 入 り 口	開 口 部
	遮蔽物	構 造						
		材 料						
		厚 さ (m m)						
	汚染の恐れのある場所の構造	くぼみ、突起物		適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
		仕上げ材の目地などの隙間		適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
		平滑、浸透性、腐食性		適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	汚 染 検 査 に 必 要 な 測 定 器		有 ・ 無					
	汚 染 除 去 用 機 材		有 ・ 無					
	更 衣 設 備		有 ・ 無					
	汚 染 除 去 洗 浄 装 置		有 ・ 無	排水設備への連結		適 ・ 否		
	出 入 口 の 数		1.通常出入口		所		2.非常出入口 所	
標 識		有 ・ 無						
(*)画壁外側の最大1cm線量当量		mSv/週						
準 備 室	建 築 物 の 構 造		1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他 ()					
	遮蔽物		筒 所	構 造	材 料	厚 さ (m m)		
	防 護 物 の 概 要	天 井						
		周 圍 の 壁	(東)					
			(西)					
			(南)					
			(北)					
	床		有 ・ 無					
	出 入 り 口 の 扉		有 ・ 無					
	そ の 他 の 開 口 部							
	汚 染 除 去 洗 浄 装 置		有 ・ 無	排水設備への連結		適 ・ 否		
	フード、グローブボックス		装置の数		排水設備への連結	適 ・ 否		
(*)画壁外側の最大1cm線量当量		mSv/週						

貯蔵施設	貯蔵室又は貯蔵箱の場所						
	最大貯蔵予定数量		Bq				
	構造		1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他 ()				
	遮蔽物		構造	材料	厚さ (mm)		
	貯蔵室	箇所					
		防護物の概要	天井				
			周囲の壁	(東)			
				(西)			
				(南)			
				(北)			
		床					
	出入口の扉						
	その他の開口部						
	(*)画壁外側の最大1cm線量当量		mSv/週				
	出入口の構造	出入口の数	1.通常出入口 所 2.非常出入口 所				
		甲種防火戸	有 ・ 無				
		開閉設備	1.かぎ 2.その他 ()				
	標識	有 ・ 無					
	構造	1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他 ()					
	閉鎖設備	1.かぎ 2.その他 ()					
	(*)画壁外側の最大1cm線量当量		μ Sv/週				
	標識	有 ・ 無					
	貯蔵容器	貯蔵物の種類及び数量の表示		有 ・ 無			
		(*)画壁外側の最大1cm線量当量		μ Sv/週 (距離1m)			
		汚染防止措置	気密構造	適 ・ 否			
			液体状収納構造	適 ・ 否			
		標識	有 ・ 無				
汚染拡散防止措置	受け皿	有 ・ 無					
	吸収剤	有 ・ 無					
	その他						
運搬容器	貯蔵物の種類及び数量の表示		有 ・ 無				
	(*)画壁外側の最大1cm線量当量		μ Sv/週 (距離1m)				
	汚染防止措置	気密構造	適 ・ 否				
		液体状収納構造	適 ・ 否				
	標識	有 ・ 無					

放射線治療病室	室名									
	病床数									
	建築物の構造		1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他()							
	措置事項		箇所		天井	壁	床	出入口	開口部	
			汚染の恐れのある場所の構造	くぼみ、突起物		適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
				仕上げ材の目地などの隙間		適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
			平滑、浸透性、腐食性		適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	
	汚染検査に必要な測定器		有 ・ 無							
	汚染除去用機材		有 ・ 無							
	更衣設備		有 ・ 無							
(*)画壁外側の最大1cm線量当量		mSv/週								
標識		有 ・ 無								
廃棄施設	排水設備	(*)排水設備の外側1cm線量当量		mSv/週						
		排水設備の能力(排水口)(*)		有 ・ 無						
		漏水防止構造		適 ・ 否						
		浸透及び腐蝕防止材料		適 ・ 否						
		排液採取設備		有 ・ 無						
		排液流出調整装置		有 ・ 無						
		処理槽	上部の開口部		有 ・ 無					
			立入禁止のための施設		有 ・ 無					
	標識		排水管		廃液処理施設		有 ・ 無			
	排気設備	(*)排気設備の外側1cm線量当量		mSv/週						
(*)排気設備の能力(排気口)		有 ・ 無								
常時立入る場所での能力(*)		有 ・ 無								
気密構造		適 ・ 否								
腐蝕防止材料		適 ・ 否								
事故での汚染拡大防止装置		有 ・ 無								
標識		排水管		廃液処理施設		有 ・ 無				
保管廃棄設備	(*)保管廃棄設備の外側1cm線量当量		mSv/週							
	外部との区画		適 ・ 否							
	閉鎖設備		1.かぎ 2.その他()							
	保管廃棄容器	構造		1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他()						
		気密構造		適 ・ 否						
			液体状収納構造		適 ・ 否					
標識		有 ・ 無								

管 理 区 域	境界における外部放射線の1cm線量当量(*)		$\mu\text{Sv/週}$		
	(*)排気中の放射性同位元素の濃度		Bq/		
	立入禁止 措置	標 識	有 ・ 無		
		注意事項 の表示	従事者用	有 ・ 無	
			患者用	有 ・ 無	
その他の措置		1.柵 2.その他 ()			
そ の 他	(*)敷地内居住区域及び境界の1cm線量当量		$\mu\text{Sv/3月}$		
	入院患者(診療により被ばくする放射線を除く)の被ばく放射線の1cm線量当量が1.3mSv/3月以下となる措置		有	無	
	内容		理由		
	取 扱	被ばく防止のための器具	1.防護衣 2.防護衝立 3.その他 ()		
	取 扱	取扱者の被ばく線量測定器具	1.ポケット線量計 2.フィルムバッチ 3.アラームメータ 4.ハンドフットクロスモニター 5.その他 ()		
放射線治療患者の標識		有 ・ 無			

備考

(*)の各放射線量は、それぞれの算出の根拠を明らかにすること。(遮蔽計算書など)

1.診療用高エネルギー放射線発生装置の概要

製 作 者 名				
型 式				
定 格 出 力 (最 大 エ ネ ル ギ ー)	電子線	MeV	エックス線	MV

2.放射線障害防止に関する構造設備等の概要

装 置 の 防 護	発生管容器から漏洩する放射線量 (利用線錐の1000分の1以下)		適 ・ 否		
	電路開閉時の不要放射線遮蔽装置 (遠隔操作装置)		有 ・ 無		
	出入口開放時の発生回路開放位保持装置		有 ・ 無		
	放射線発生時の自動表示装置		有 ・ 無		
使 用 室	建 築 物 の 構 造		1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他 ()		
	遮 蔽 物		構 造	材 料	厚 さ (m m)
	防 護 物 の 概 要	天 井			
		周 圍 の 壁	(東)		
			(西)		
			(南)		
			(北)		
		監 視 用 窓			
		床			
		出 入 口 の と び ら			
	そ の 他 の 開 口 部				
	装 置 を 操 作 す る 場 所				
	(*)面壁外側の最大1cm線量当量		mSv/週		
	出 入 口 の 数		1.通常出入口 所 2.非常出入口 所		
	放射線発生時の自動表示装置		有 ・ 無		
標 識		有 ・ 無			
管 理 区 域	境界における外部放射線の1cm線量当量(*)		μ Sv/週		
	立入制限 措置	使 用 中 の 表 示	有 ・ 無		
		注 意 事 項 の 表 示	従 事 者 用	有 ・ 無	
			患 者 用	有 ・ 無	
標 識		有 ・ 無			
そ の 他	(*)敷地内居住区域及び境界の1cm線量当量		μ Sv/3 月		
	入院患者 (放射線治療患者を除く) の被ばく放射線の1cm線量当量が1.3mSv/3月以下となる措置	有		無	
		内 容	理 由		
	被ばく防止のための器具		1.防護衣 2.防護衝立 3.その他 ()		
取扱者の被ばく線量測定器具		1. ガラスバッチ等 2.その他 ()			

- 備考 1. 診療用高エネルギー放射線発生装置の概要等については、装置毎に作成すること。
 2. (*)の各放射線量は、それぞれの算出の根拠を明らかにすること。(遮蔽計算書など)